



江戸時代頃の田植祭の様子を描いた掛軸

向笠 洋三氏 所蔵

おもな内容

- 研修視察 P2
- 一般質問(町政を問う) P3 ~ P8
- 委員会報告 P10 ~ P11
- まちはどうなっしようと P13

中学生の議会訪問
のことがのって
いるよ P13



ギカイくん



たよりちゃん

質問 「光通信」について。11月から待望の光通信が可能となりました。しかし本町全域となっていない。

答弁(課長) 現時点で光通信可能な地区は、中元寺川から東地区全域、上・中・下系田、宮川一・二、打

A 糸田全域に恩恵が受けられる様、電気事業者と共に検討する。

Q 住んでみたい町づくりを目指し、「光通信」について。光通信の不可能な地区の対応は。



11番 松瀬 征行 議員

一般質問とは
議員が町の仕事全般について、現状やこれからの考えについて質問したり、政策提言をおこなうことで、定例会のみでおこなわれます。糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載していきます。

質問 「町立病院小児科」休診について。10月から町は中学生まで医療費無料なのに小児科は、休診となっている。私は三つのマイナスで要約した。一つは、子育て中の保護者の不便、二つは若者カプルの移住定住の

A 九大、各田川・飯塚・県医師会等で募集中だ。再開出来る様に努力する。

Q 「町立病院小児科」休診について。10月から休診中の「医師確保」の対応は。

答弁(課長) 糸田全域に恩恵が受けられるのが町の基本的事項であり整備手法等を電気事業者と共に検討する。

質問 「行政の公平なサービス」の観点からも「光通信」不可能な地区の対応は。

越、原地域です。

Q 「地方創生」について。有権者1,500名配布の「アンケート調査」の回収状況とその評価は。



答弁(町長) 九大小児科、九大医学部OB会や各田川、飯塚医師会、県医師会へのお願い。医師の登録派遣サイト等募集している。早く再開出来る様に努力する。

質問 「小児科医師」確保の対応は。

答弁(町長) 九大小児科、九大医学部OB会や各田川、飯塚医師会、県医師会へのお願い。医師の登録派遣サイト等募集している。早く再開出来る様に努力する。

答弁(町長) 今回の地方創生総合戦略は、住民間接参加型のアンケートを実施すると共に糸田町地方創生人口減少対策有識者委員会(住民代表4名産学勤労各分野5名)の直接参加型で補完し取り組んでいる。直接、間接参加による手法で町民の意見が十分反映される計画の策定に努める。

質問 「アンケート調査」等住民の顔が見えない「住民間接参加型」の取り組みについて

答弁(課長) 回収数は423件で回収率は、28・2%です。今後は実施方法の周知や多くの方から回答が得られる様に調査方法を検討し見直したい。

質問 「回収状況」とその評価は。

答弁(課長) 回収数は423件で回収率は、28・2%です。今後は実施方法の周知や多くの方から回答が得られる様に調査方法を検討し見直したい。

全国町村議会広報研修会(東京)

日時 平成27年10月20日(火) 午後1時30分～午後4時45分

講演 一議会広報紙の文章ー「伝える広報」から「伝わる広報」へ

講師 小田 順子氏 (広報コンサルタント・柏崎市広報専門官)

講演 思わず手にとる読みたくなる議会だよりを目指して

講師 畠田 千鶴氏 (一般財団法人地域活性化センター 広報室長兼月刊「地域づくり」副編集長)

出席議員(広報委員) 小嶋・松瀬・中原・井手元 (欠席:竹田・松岡)



日時 平成27年10月21日(水) 午前9時00分～午前11時30分

講演 優良議会広報クリニック

講師 芳野 政明氏 (議会広報サポーター)

立ち寄り視察



第59回町村議会議長全国大会 ～地方創生の実現をめざして～(東京)



日時 平成27年11月11日(水) 正午

議題 要望・決議等を採択

特別講演 地方の明日を創る

講師 安藤 忠雄氏 (建築家)

出席議員 井手元



日時 平成27年11月12日(木) 午前9時

本所防災館を視察 展示・体験・ゲームなどで防災を学ぶ。

▲もしも災害にあったら (本所防災館)

田川郡町村議会議長会研修会(糸田町文化会館)



日時 平成27年11月5日(木) 午後3時～午後5時

講演 人口減少問題と地方創生を考えるための視点

講師 坂本 誠氏 (NPO法人ローカル・グランドデザイン理事)

出席議員(全議員対象) 井手元・中原・竹田・小嶋・田中・早麻・谷口・松岡・村上・城島・松瀬 (欠席:山田)



田川地区総合防災訓練



日時 平成27年11月15日(日) 午前9時30分

場所 大任町水辺公園

出席 中原(議長代理) 小嶋(消防議員)

様々な災害を想定し、色々な団体と連携した救助訓練を実施。

視察受入



宮崎県都農町議会

日時 平成27年11月16日(月) 午後1時

対応 正副議長 総務文教正副委員長 産業建設厚生正副委員長

●土曜サークル ●トレーニング室 ●町立病院 ほか

熊本県南関町議会

日時 平成27年11月25日(水) 午後2時

対応 正副議長 議会運営委員会

●議会運営

7番 松岡 久 議員



Q 高齢者の方、特に独居老人問題の現状を問う。

A 高齢者等の世帯数・人数は把握。身寄りのない人の数は未把握。

質問 少子高齢化が加速する中、独居老人も急激に増えてくるのは間違いないと言われています。糸田町の高齢者の単身世帯数と独居老人、ひとり暮らしで身寄りのない人は何人いるのか問う。

答弁 (課長) 高齢者の単身世帯数は、1,748世帯。独居老人の人数は、1,197名。

質問 緊急通報サービスが有ることを町民の皆様にも周知徹底しているのか問う。

答弁 (課長) 緊急通報装置は申請しないと設置していない。周知徹底は町のホームページに掲載。緊急通報装置の利用者は、78名となっている。

Q 道の駅を6次産業につなげる改革案を問う。

A 生産から販売までの流通ルートの確立が必要。

質問 平成26年度の売上高、商品販売面積、トイレの維持費を問う。

答弁 (課長) 総売り上げ高約2億6,300万円、経常利益385万4,752円、商品展示スペース約341平米、トイレ浄化槽管理費212万8,800円、水道代全部で164万3,730円となっている。

質問 出荷品のベスト3と登録出荷者数と出荷者数を増やす施策を問う。



答弁 (課長) 1位は弁当類、2位は果実類、3位は惣菜類となっている。出荷者数320人、町内が45人、町外は275人、出荷者数を増やす施策は、出荷組合と連携し町内出荷者数を増やす取り組みが必要。



Q ごみ処理、し尿処理施設建設問題について問う。

A 下田川も広域処理に参加、田川8市町村がひとつの方向でそろった。

質問 8市町村での処理施設の建設着手はいつか、町民に説明会を開く予定について問う。

答弁 (町長) 下田川として、広域処理に参加する旨を伝え、これで田川

8市町村がごみ、し尿処理に向かうことがそろった。議会の皆様と話し合いながら、住民説明会の時期を具体化していく。



Q 平成26年の税、使用料等の収入状況と滞納理由について問う。

A 滞納理由は、死亡・収入減・リストラが要因。

質問 町税の調定額と収入額並びに滞納繰越額について問う。

答弁 (課長) 固定資産税の収入2億636万4,781円、滞納繰越額7,861万1,295円。

質問 貸付金の収入額と滞納額について問う。

答弁 (課長) 収入額1,661万5,034円、滞納繰越額3億2,615万6,482円。

Q 文書管理について。

A 精一杯の処置をした。

質問 町長宛てに町民の方から文書、手紙が届いたと聞いている。内容が一部の議員に情報が漏れている、何ら問題はないのか。

答弁 (課長) 文書管理規程により管理した文書を、情報公開条例等に基づき適正な管理を行なっている。

答弁 (町長) 文書の本身は、先の上京した活動での議員に対する措置です。議会の問題と捉えて、議長室にその文書を持って行き、議長に改善に向けて相談をした。

質問 議長から一部の議員に渡ったと推測はできるが、手紙の内容が公の場で実名を上げて公表されている。これは厳しく管理していただかないといけないんじゃないかと思う。実名が出るようなこと、これは、私は問題じゃないかと思うが町長はどう思うか。

答弁 (町長) 私なりに精一杯の処置をしたと、そういうこと。一応自分なりに受け取った行動をしたまで。

1番 山田 陽一 議員



Q 工事発注について。

A 今のランクについて新年度に向けて検討する。

質問 糸田町はA B C D 4ランク制で指名を行っている。今回もDランクの事業にCランクの業者が入っている。中学校床張り工事と同じ業者が住宅補修工事と集会所防水工事に入って、床張り工事と外れた業者は二つ共入っていない。なぜこのような事が起こるのか。

答弁 (町長) 選定方法は、ランクづけの中に詳細にランクをつけてある。順位に従って指名した。

質問 4ランク制で1社足りない状態になるのであれば改善して3ランク制にしたらどうか。

答弁 (町長) 業者の数が少ないのに頭を痛めている。今のランクについて新年度に向けて検討する。

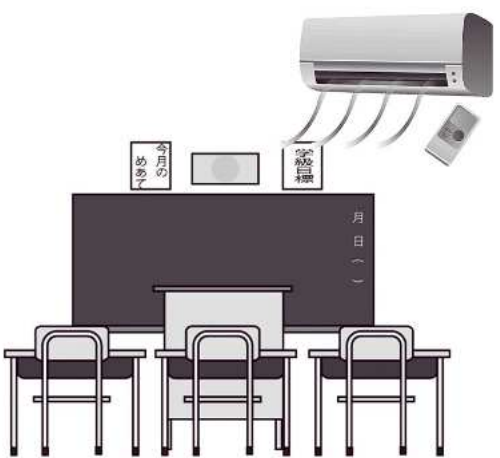


Q 校舎内環境の向上、改善について(エアコン設置)。

A 今の所、教室につける予定はない。

質問 校舎内の環境の向上、改善で、エアコンの設置を検討していただきたい。暑い中、授業を受けるより快適な空間で授業を受ければ集中力も上がり、学力も向上するのではないか。新校舎が建った当初から保護者や色々な方から要望がある。

エアコンの設置を検討していただきたい。暑い中、授業を受けるより快適な空間で授業を受ければ集中力も上がり、学力も向上するのではないか。新校舎が建った当初から保護者や色々な方から要望がある。





9番 中原 詔蔵 議員

Q 貴船団地内の道路問題について問う。

A 感じる限り具体的に両担当部署で前進をしているようだ。

質問 早くから地域住民の方から、車両通行の騒音問題などの苦情を聞いている。このことにつきま

しては、町長も御承知のことと思う。ただ、糸田町の単独では問題解決ができないが、早く田川市と連携を図り、問題解決のため積極的に対策対応を推進していただきたいと思う。また、本町においても単独で対策ができることがあれば、計画し、実施をしていただきたいと思います。この事について町長に尋ねる。

答弁(町長) 前町長が田川市長を訪問し、県道香春糸田線のルート変更に対する協力を依頼した。その後本町の要望に対して協力する旨の回答を受けた。その内容を受け、両首長の連名で要望書を福岡県に提出し、平成27年4月6日に県からの回答を受けた。その後、新首長になり、非公式の場で本件についてのすり合わせを行ってきた。それと同時に、要望内容の確認、県土整備事務所のスケジュール等を調整し、正式に何う予定で、具体的に両担当部署で前進

をしているようである。なお、本町の対策として、今の奥の通路を迂回してもらうというところで、大きな看板を設置した。できる限りの努力、改善を進めてまいりたいと思う。



Q 本線の修理田橋のかけかえ工事計画の進ちよく状況について問う。

A 平成28年度に完了予定とのことであるが、詳細はできていない。

質問 修理田橋の仮設道路と橋がようやく設置された。これから

本體工事が進むと考える。この工事が完成すると、道路の利便性が大変よくなり、地域住民にとっては喜ばしいことと思う。そこで、本線の修理田橋のかけかえ工事計画と、県道南糸田交差点改良計画の進ちよく状況について、担当課長に問う。

答弁(課長) いずれも県工事ですので、答えられるところを確認した上で答弁する。町道の迂回路は、平成27年5月に完成し、県道迂回路も平成27年11月で仮橋を含め完了しており、現在は、通行可能になっている。今後の工程ですが、旧橋の撤去や新橋の右岸左岸の橋台工の着工を予定しており、平成28年度に護岸、上部工、取りつけ道路工事等を予定しているとのことであり、したがって、

町以外から資金を集める。事例として佐賀県の玄海町が棚田米の収穫により、それから酒をつくとインターネットで出資金を全国に呼びかけたところ500万円集まりそれを元手に起業。酒の生産に雇用が生まれた。糸田町においてシステムをまねした方法でクラウドファンディング方式で何か事業ができれば、行政だけに限らず、青年層、商工会、農業団体から事業の提案があつていい事業じゃないかと思う。

問題もある。分離発注できるようなものは、取り組んでいく。



Q どのような仕組みをつくれば雇用創出ができるか。

A 資金を集めるクラウドファンディング方式で事業できれば。

質問 具体的な雇用創出の芽が出そうなものはないか、加工所の設置からも雇用が生まれるのではないかと取り組みを問う。

答弁(町長) 現在までに、起業支援型地域雇用創造事業でバス運行業務

委託事業で2名、特産品菓子開発促進事業で2名、当地グルメ製造販売促進事業で3名、糸田町工場等の設置条例に基づく奨励金交付事業として大型商業施設「川食」で24名合計31名の雇用が実現している。今後の取り組みはインターネットを使って

平成28年度に完了予定とのことですが、詳細はできていない。以上が修理田橋の進ちよく状況である。

Q 県道南糸田交差点改良工事計画の進ちよく状況について問う。

A 平成28年度に事業着手に向けて、協議をまとめた。

質問 県道南糸田交差点改良工事計画の進ちよく状況について問う。

答弁(課長) 南糸田の交差点の改良工事に ついてですが、平成27年5月に地元区の方から、交差点の改良要望書の提出があつた。その後7月に、糸田町長名で田川県土整備事務所長へ上申書を提出している。11月末に整備事務所が事業化に向けて、原案図を持って来た。今内容について、協議をしているということである。できれば平成28年度に事業着手に向けて、協議をまとめてまいりたいと思う。これが進ちよくの状況である。

窓口対応の順番を後回しされたなどの差別的な取り扱いを禁止する。あわせて、目や手が不自由な人のために代読や代筆をする。意思疎通が苦手な人に絵のカードを活用するといった個別の状況に応じた配慮を可能な範囲で行うことを求めている。行政機関に対応要領を策定するよう定めているがどのように進めるか。



Q 障がい者への支援、サービスをどのように考えているか。

A 地域住民が障がいに対して正しい認識を持てるよう啓発活動したい。



3番 小嶋 康子 議員

Q 町の施設や住宅メンテナンス・建設において設備の分離発注の促進。

A 町内業者で十分対応できるものは分離発注を視野に入れ実施したい。

質問 業種別によその市・町でも分離発注されているが、この分野業者も町の中で、仕事ができる、仕事をつくることができる。災害に合った場合も迅速にできる。分離発注の促進について問う。

答弁(町長) 建築は10業者前後の専門業者が協力しないと完成しない。そこで果たして地元に対応するだけの業者がおるか、そういう

平成26年度決算認定
決算特別委員会が内容を検証
 決算特別委員会
 委員長：田中隆之 副委員長：竹田照美
 委員：小嶋康子・松岡久・村上秀二・城島信幸



26年度の予算はどのように使われたのか

執行部の主な成果報告

平成26年度は国の交付金事業による鼠ヶ池地区道路整備、西部団地の合併浄化槽設置及び住戸改善事業、宮床団地建替えに伴う解体造成事業等を実施。また、県交付金による、子育て支援室の改修事業、再生可能エネルギー導入推進補助金を活用しての防災拠点施設である道の駅への太陽光発電施設を整備。ソフト面では、消費税率の改正に伴う臨時福祉給付金等事業、緊急雇用創出事業による高齢者就業機会開拓事業など住民の生活環境の向上に努めた。町営住宅建替えなど後年度の財政事業に備えるため、財政調整基金への積立も実施。一般会計の収支は6億287万312円で実質収支は5億6,970万3,112円の黒字。1億円を自治法の規定による基金繰入を行った。平成27年度へ繰り越す剰余金は4億6,970万3,112円。

今後の財政運営上の留意点は、実質収支や財政健全化判断比率による財政状況は健全な状況にあるが、数値が高いほど財政の硬直化が進んでいるとされる経常収支比率は95.3%。前年度比0.9%ほど増加している。地方創生に係る新たな事務事業に対応できる機構改革の必要性も叫ばれているが今後も事務事業の見直しや効率化による経費の削減、税等の徴収率の向上に努める。公債費に関して、地方債残高は減少していますが、町営住宅の建替え事業に着手したことにより、新たな起債が発行される。将来負担となる起債の発行については、緊急性、必要性等を考慮し必要最小限にとどめることが求められる。以上が平成26年度の主な成果と今後の財政運営などの留意点である。

委員の質疑

- Q、ふるさと寄附金について、他の町との差異は。
 A、福智町との一番の違いは、お礼品の内容の充実と寄付額に対する変換率(50%)の違い。糸田町も来年度に向けて検討課題と考えている。
- Q、町営住宅(家賃)の徴収率を上げていく具体的な計画はあるか。
 A、機構改革の検討をすすめ、専門的な分野が必要であれば、具体的な対策行動を定める。
- Q、税金の不納欠損で死亡による相続に対する対応、回答は。
 A、書面で実施。平成26年度は、町内48件、町外18件、戸籍追跡調査で7件となっている。
- Q、人口を増やし、税金を払える方を増やすことが一番の目標。徴収率を上げる対策は。
 A、状況を把握して対応をする。徴収率については、督促等で対応する。

- Q、臨時給付金の未払いの方はどうするのか。来ない理由はどうか。
 A、来ない方は、開封をしていないのではと思われます。約一割で300人近くになりますので訪問は考えていませんが電話はしたいと思う。(要望)体制としては、100%行き渡るように取り組んでいただきたい。
- Q、特産品関係の繰越事業の説明をお願いします。
 A、ふるさと特産品事業、販路開発事業、プレミアム振興券等の事業。特産品については、6社申し出があり、販売を実施。
- Q、流用と扶助費の不用額の説明をお願いします。
 A、学校で子どもが病気などになり、病院に行く時のタクシー代が不足したので流用いたしました。扶助費の不用額については、前年度推計により組ませていただいたためです。
- Q、新築増築等の評価に漏れはないのか。
 A、航空写真や現地での目視などで対応。

まとめ

歳出における不用額を減少させるため、予算計上の段階での精査を十分に行うこと、予算執行に際しましては、最小限度の経費で最大限の成果をもたらすことを要望。議案第35号から議案第41号まで7件について、質疑終了後採決した結果、全会一致で全議案とも認定することに決定。

質問
 糸田町はランク制である。業者においてはランクは権利で

答弁(副町長)
 当然である。公正、公平に厳粛に指名委員会を開催して

質問
 行政は当然公平性を保ち、住民が不利益にならないよう公正、公平、平等でなくてはならないと考える。指名委員会においても権利を有することについては、当然公正、公平、平等でなくてはならないと考えるが。

A
 当然である。

Q
 行政全般の公平性等について問う。



6番 谷口 輝昭 議員



答弁(副町長)
 糸田町の建設工事請負選定要綱に基づいて、また指名委員会の内規に基づいて指名を行っている。上位ランクからの業者数のあり方については今後見直して検討する。

ある。行政は規則を守り公正、公平、平等な判断をするべきである。

議会活動

10月		11月		12月	
日にち(曜日)	内容	日にち(曜日)	内容	日にち(曜日)	内容
1日(木)	福岡201号筑豊烏尾トンネル(2本目)視察	3日(火)	T8サミット	1日(火)	議長団説明
2日(金)	議会広報常任委員会	5日(木)	田川郡町村議会議員研修(糸田町開催)	7日(月)	議会運営委員会 議会広報常任委員会
4日(日)	田川郡身障運動会 子どもまつり	7日(土)	いとだ祭	9日(水)	本議会定例会初日 糸田町人権講演会
9日(金)	議会広報常任委員会	8日(日)	全国町村議会議長大会(東京)	10日(木)	産業建設厚生常任委員会
11日(日)	町立保育所運動会	11日(水)	総務文教常任委員会協議会	11日(金)	総務文教常任委員会 議会運営委員会
13日(火)	暴力団追放!地域決起会議(筑豊地区)	12日(木)	懲罰特別委員会	本議会定例会2日目	
14日(水)	田川地区水道企業団議会全員協議会	13日(金)	鎮西同窓会	14日(月)	全員協議会 総務文教常任委員会
16日(金)	全員協議会	14日(土)	糸田町暴力団追放大会	15日(火)	議会広報常任委員会
19日(月)	下田川清掃施設組合議会全員協議会 議会広報常任委員会	15日(日)	田川地区総合防災訓練	17日(木)	本議会定例会最終日 産業建設厚生常任委員会協議会
20日(火)	議会広報研修会(東京)	16日(月)	宮崎県都農町議会視察受入 全員協議会	25日(金)	田川郡東部衛生センター 伊良原ダム建設現場 視察
21日(水)	産業建設厚生常任委員会協議会	19日(木)	田川郡町村議会議長会監査		
23日(金)	敬老会	20日(金)	監査委員・会計管理者研修		
25日(日)	宮床団地地鎮祭	24日(火)	懲罰特別委員会		
26日(月)	人権・同和問題研修大会	25日(水)	田川地区水道企業団議会定例会		
27日(火)	決算特別委員会	26日(木)	田川郡町村議会議長会会議		
29日(木)	阿武松部屋激励会				
30日(金)	コールマインフェスティバル				
31日(土)					



総務文教常任委員会

総務文教常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・教務課に関する事項を審議調査します。

マイナンバーの利用に関する条例制定

(説明)

福祉、保険、医療及びその他の社会保障、地方税又は防災に関する事務その他これらに利用する事務であって、条例に定めるものについては個人番号を糸田町の独自事務に利用することができる条例。

Q 窓口で町民に個人番号利用について説明するのか？

A これから窓口対応は検討する。



マイナンバー

小中学校の運動場使用に関する条例制定

制定理由

学校施設の適正な管理を行うため制定

Q 個人に貸すのか団体か？

A 原則10人以上の団体に貸出

使用料(1時間)

屋内外運動場 200円
屋内運動場照明料 300円

指定文化財災害復旧負担金 (平成27年度補正予算)

国境石(旧烏尾峠へび神様付近)
飯塚市と費用を折半
約50万円

コピー機購入費 (平成27年度補正予算)

(説明)

事務のためのコピー機購入

Q 拡大コピーの購入は出来ないのか？横断幕・広報に活用できるのではないか。

A 当初予算に向けて検討する

田川地区消防組合負担金 (平成27年度補正予算)

平成27年度確定に伴う追加
約357万円
負担金合計
約1億2,101万円

糸田町課設置条例の一部を改正する条例 (平成28年4月1日施行)

建設住宅課 → 建築課
産業経済課(一部) → 土木課

総務課(一部) → 地域振興課
産業経済課(一部) → 地域振興課

建築課
・住宅の建設、管理、処分(建設住宅課より)
・建築に関すること(建設住宅課より)

地域振興課
・町の総合計画(総務課より)
・町勢振興、広報、統計(総務課より)
・商、鉱工、農、林、水産業(産業経済課より)
・観光(産業経済課より)
・その他 地域振興

土木課
・土木、道路、河川、鉱害、労働対策(建設住宅課より)
・農林土木、国土調査(産業経済課より)

Q 地域振興課は、総合開発などの業務が多いが人材の配置は大丈夫か？

A 人材配置は、偏らないように適材適所でやる。

産業建設厚生常任委員会

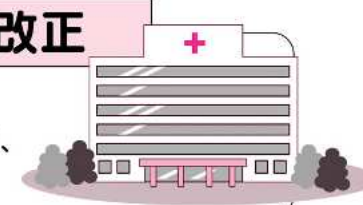
産業建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・水道課・建設住宅課・産業経済課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

町立病院条例等の一部改正

(説明)

現在、外科の中で、整形外科診療がされているので、整形外科として表示する条例の改正。



街灯補修費 (平成27年度補正予算)

(説明)

蛍光灯からLEDに移行(長期使用可能)
一基 単価 7,200円×30基
約22万円



長〜く持つから取替えが少なくなるんだよ

地球にやさしいLEDだね

土木工事費 (平成27年度補正予算)

Q 工事場所は
A 金村団地からのバス路線。
真岡4号線など損傷のある道路。
310万円

観光振興費 (平成27年度補正予算)

あじさい園の階段設置
70万円

県地域密着型施設等整備費補助金 (平成27年度補正予算)

(説明)

在宅医療を推進、24時間看護訪問する準備金。
事業者が役場を通して申請。
1,029万円

臨時福祉給付金事業費返還金 (平成27年度補正予算)

低所得者対象の給付金
平成26年度分 給付率 82.2%
対象者 2,835名 → 申請者 2,503名
給付金返還金 807万円 事務費返還金 約29万円

Q 申請されない方への対応は？

A 26年は通知のみだったので、今年度は訪問して対応している。

(要望)

対象者には漏れがないよう、周知徹底する。



中学生が議会を見学に来ました！



糸田中学校3年生 社会科見学「議会の仕組み」～議場見学～ 平成27年 11月19日(木)



- ・選挙権年齢の引き下げ、議会の運営などを学ぶ。
- ・模擬議会として、一般質問を体験。

中学生の声

- ・貴重な体験ができました。
- ・議場は迫力がありわくわくしました。積極的に選挙に参加して、良い糸田町にしていきたい。

南糸田歩道完成



町営宮床団地建て替え工事進捗状況



修理田橋改修工事中



貴船地区道路看板設置



工 事 名	予定額(円)	落札額(円)	落札率(%)	業 者 名
木ノ実及び岩ヶ迫溜池ゲート改修工事	11,780,000	11,500,000	97.62	日新産業株式会社
旭ヶ丘団地3-1号空家補修工事	1,903,000	1,870,000	98.26	泰斗総業
谷川集会所防水等改修工事	4,226,000	4,100,000	97.02	有限会社 山口工業
糸田町庁舎太陽光発電及び蓄電池設置工事	30,590,000	27,595,000	90.21	株式会社 永和ビルテック
糸田町保健センター太陽光発電及び蓄電池設置工事	30,040,000	27,088,000	90.17	株式会社 リクデン
上糸田・鼠ヶ池線道路改良工事	4,552,000	3,937,000	86.49	㈲昭徳建設
糸田町消防団第三分団消防格納庫新築工事	20,755,000	19,350,000	93.23	有限会社 河端建設

2件の懲罰動議が本会議において提出

＜対象議員＞
村上 秀 二
＜提出理由＞
【懲罰動議文書抜粋】
12月9日本会議の他の議員の一般質問中、議長の注意に従わず質問議員に暴言を吐いた。「執行権やるも」「議員ががたがた言うこっちゃない」などの暴言は議運の委員長としてふさわしくない言動。
懲罰特別委員会が設置されました。
委員長 城島 信 幸
副委員長 小嶋 康 子
委 員 山田 陽 一
田 中 隆 之
早 麻 章 三
谷 口 輝 昭

＜対象議員＞
谷口 輝 昭
＜提出理由＞
【懲罰動議文書抜粋】
12月11日の総務文教常任委員会中、執行に対し出て行くよう強要し「答えるんか、こら」「答えれ」など恫喝、暴言とも思える発言を行った。議案審議に入ったにも関わらず、審議を妨害し発言を繰り返した。
懲罰特別委員会が設置されました。
委員長 松岡 久
副委員長 中原 昭 蔵
委 員 竹田 照 美
村上 秀 二
松瀬 征 行
井手元 正 人

平成27年第4回糸田町議会定例会 (12月9日～12月17日) 「○」賛成 「×」反対

件 名	議 案 結 果												
	可 否	山 田	竹 田	小 嶋	田 中	早 麻	谷 口	松 岡	村 上	中 原	城 島	松 瀬	井 手 元
平成26年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度糸田町上水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町立小中学校運動場の使用に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町立緑ヶ丘病院条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度糸田町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
糸田町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

請願審査結果

件 名	紹介議員	結果
よりよい保育の環境づくりについての意見書提出に関する請願書	中原昭蔵・松瀬征行・村上秀二	採択

陳情審査結果

件 名	結果
TPP(環太平洋連携協定)に関する緊急要請	採択

意見書の提出

件 名	結果
子ども・子育て支援新制度に対する意見書	可決
TPP(環太平洋連携協定)に関する意見書	可決

山田陽一議員に対する懲罰動議結果

審 議 と 結 果	可 否	山 田	竹 田	小 嶋	田 中	早 麻	谷 口	松 岡	村 上	中 原	城 島	松 瀬	井 手 元
前号で掲載しました懲罰動議については、特別委員会を開催し、慎重審議の結果、懲罰を科すこととし、懲罰の種類については陳謝とすることに決定しました。このことに関し本会議において採決し、賛否同数となり、議長裁決により可決され、山田議員により陳謝しました。	可決 除 斥	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○

町長不信任(谷口輝昭議員による動議)

内 容	可 否	山 田	竹 田	小 嶋	田 中	早 麻	谷 口	松 岡	村 上	中 原	城 島	松 瀬	井 手 元
副町長の任命および判断能力に欠けるとの理由により、町長不信任案が口頭動議により提出され、議題として取り扱うかについて採決した結果、否決され議題となりませんでした。	否決	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○

未来の宝 いとだっ子

道場に入ると、剣士たちが凛々しい顔をして、一心不乱に竹刀を振り“メン、ドウ、コテ…”の大きな声が響き渡っている。

「糸田町スポーツ少年団剣道部」は、内丸英敏監督が昭和42年に創立。今年で50年目を迎える伝統と歴史のある剣道部。現在、部員は13名で毎週3回練習に励んでいる。これまでの主な戦績は、平成26年度田川地区青少年健全育成剣道練成大会(中学生団体戦の部：3位)、平成27年度田川地区青少年健全育成剣道練成大会(中学生団体の部：準優勝)(中学生女子個人戦の部：3位/深堀ひなたさん)と、自慢できる戦績を上げてきた剣士たちである。

厳しい中にも愛情ある指導のもとで礼儀を学び、これからも技術も心も体も鍛え、どこまでも剣道と仲間と共に歩む剣士、いとだっ子の活躍に期待する!!



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回)3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入するだけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第1回は、3月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

訂正とお詫び

前号(平成27年11月発行 第7号)において、以下のとおり誤りがありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

13ページ 「第12回福岡県市議会議員会議員研修会」記事中の「出席議員」に、**早麻章三議員**の氏名が記載されておりませんでした。

15ページ 下段の入札結果一覧の「工事名」最下段

- ×「宮床団地建設工事(B棟電気設備工事)」
- 「宮床団地建設工事(B棟機械設備工事)」

編集後記

議会で研修会や先進地視察に行く。

また、公共工事などの現場視察では、関係者から工事の進捗状況の説明を受け、質問や意見交換をする。

最近では、完成間近の2本目となる烏尾トンネルや伊良原ダムに行った。現在のところ工事は順調のようだ。

こういった視察の内容も「議会だより」に詳細に掲載したいところだが、特に秋は研修や視察が集中し、ページは見出しだけでびっしりになってしまふ。

広報研修会で「紙面は余白をつくることを読みやすい」と学んでいるが、ページを増やすと予算にも関わるので、なかなか思うようにいかない。

日々の生活の中で、余裕という余白をつくりだせば、もう少し知恵が出るかも・・・?と思いつつ。

今年も広報委員一丸となって、紙面充実に向けて頑張りたい!!



議会広報常任委員会

- 委員長 小嶋 康子
- 副委員長 松瀬 征行
- 委員 竹田 照美
- 委員 松岡 久
- 委員 中原 詔蔵
- 委員 井手元 正人

発行責任者

- 議長 井手元 正人

問い合わせ

- 〒822-1392
- 糸田町 1975 番地 1
- 糸田町議会事務局
- 電話 26-4353